

周辺地域の既存ボーリング調査資料

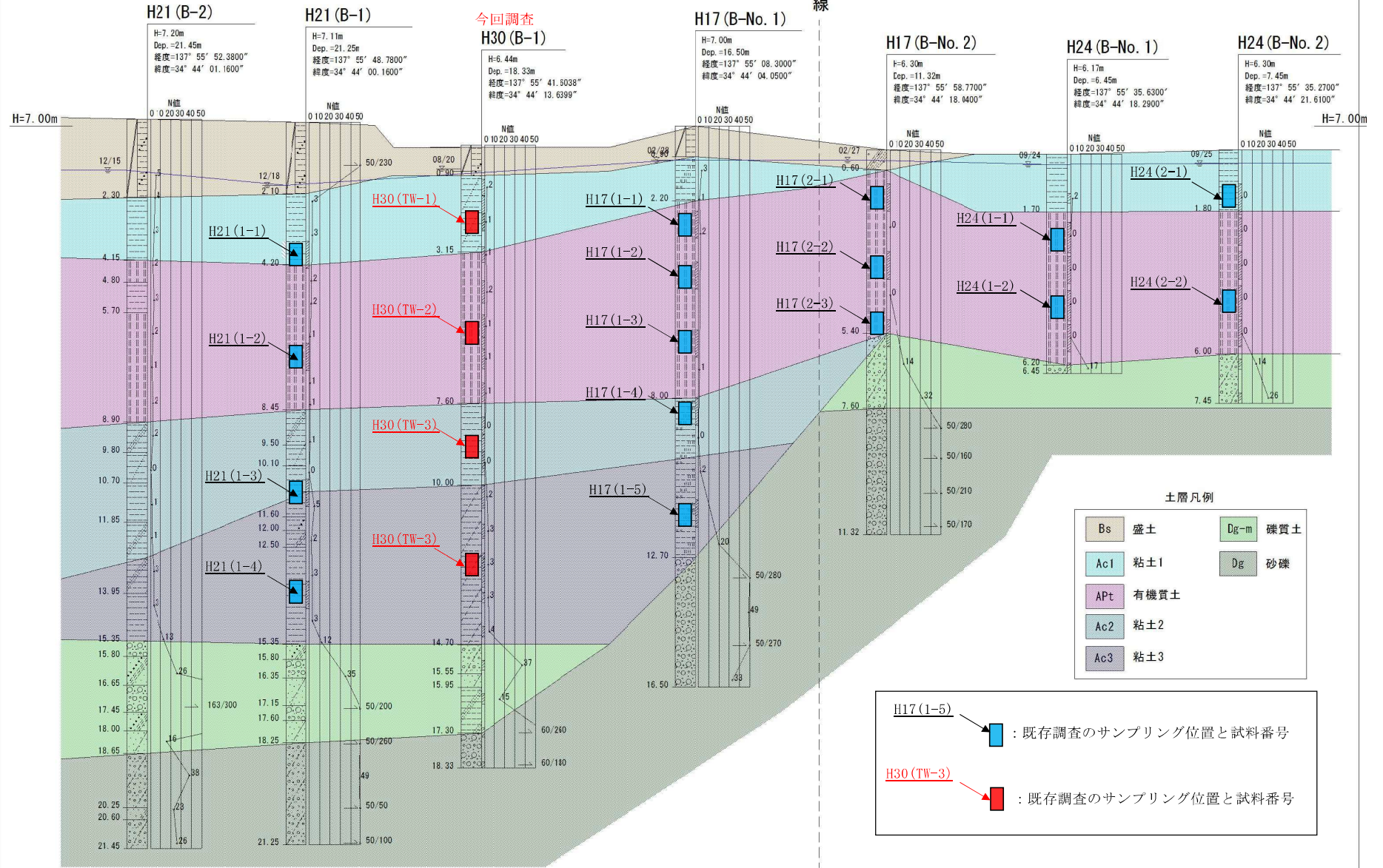
参考資料 - 6



V=1:100 (A3)
H=Not To Scale

新幹線

今回実施したボーリング調査データと既存ボーリング調査データを並べた図面



土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名 平成30年度 秋田川上流部雨水貯留施設地質調査業務委託

事業・工事名

調査目的及び調査対象 砂防 構造物基礎

ボーリング名	H30(B-1)	調査位置	袋井市高尾地内	北緯	34° 44' 13.6399"
発注機関	袋井市役所	調査期間	平成30年 8月20日～平成30年 8月24日	東経	137° 55' 41.6038"
調査業者名	(株)シーベック 電話 054-246-7741	主任技師	白鳥正浩 地質調査技士 第10941号	現場代理人	安竹正嗣 地質調査技士
孔口標高	H=6.44m	角	180° 上 0° 下	方	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南
総掘進長	18.33m	度	0°	向	0° 水平 0° 鉛直 90°
試験機	YBM-05DA-2	エンジン	NFAD-9BK	ポンプ	GP-5
コ	ア	コ	ア	ボーリング	松下和義 地質調査技士 第06841号
鑑定者	安竹正嗣 地質調査技士	責任者	安竹正嗣 地質調査技士	責任者	松下和義 地質調査技士 第06841号

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色	相対密度	相対稠度	記号	孔内水位 / 測定日	標準貫入試験					試料採取	室内試験	原位置試験	削孔月日			
											深度 (m)	100mm毎の打撃回数	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量							
	5.54	0.90	盛土 (礫混じりシルト)			茶褐			φ10~30mm程度の垂円礫主体。最大礫径φ50mm。	8/20 0.70		1.00	0	1	1	2	1.00					
			砂混じり粘土			暗灰	rc1		粘性強位。有機物を少量混入する。砂を不規則に介在する。			2.00	0	1	1	1	1.48	物理試験 一軸三軸圧密				
	3.29	3.15										3.00	0	1	1	1	2.53					
			有機質土			黒褐	rc1		基質は、未分解の繊維や炭化物を多く混入する有機質土である。全体に粘土分を混入する。			4.00	0	2	2	2	3.43					
												5.00	0	1	1	1	4.64	物理試験 一軸三軸圧密 強熱減量 pH試験				
												6.00	0	1	1	1	5.00					
												7.00	0	1	1	1	6.00					
	-1.16	7.60				暗灰	rc1		粘性強い。粘土が主体。全体に有機物・炭化物混入する。深度9.2m~10.0m、貝殻片多く混入する。			8.00	0	0	0	0	7.00	物理試験 三軸圧密				
			粘土									9.00	0	0	0	0	8.62					
												10.00	0	1	1	2	9.00					
	-3.56	10.00				暗灰	rc2		粘性中ぐらい~やや強い。粘土主体でやや固結したシルトが不規則に混入する。有機物・炭化物混入する。深度11.00m~12.00m間、砂を不規則に介在する。深度13.00m付近、粘性弱くやや固結している。			10.60	0	1	1	2	9.70	物理試験 三軸圧密				
			シルト混じり粘土									11.50	1	2	3	3	10.00					
												12.00	1	1	1	3	10.60					
												13.00	1	1	1	3	11.50	物理試験 三軸圧密				
												14.00	1	1	2	4	12.00					
	-8.28	14.70				暗灰	rd4		φ2~10mm程度の垂角~垂円礫主体。マトリクスは細粒分により充填される。最大礫径φ40mm程度。深度15.05~15.35m間、シルト混じり細砂挟在。細砂主体。粒径は概ね均一な印象を受ける。やや固結気味。			14.40	1	1	2	4	11.50					
			シルト混じり砂礫									15.00	11	12	14	37	13.00					
	-9.11	15.55				暗灰						15.40	4	5	6	15	12.50					
			シルト混じり砂									16.00	4	5	6	15	13.00					
	-9.51	15.95				淡灰	rc4		粘性中ぐらい~弱い、固結している。有機物少量混入。深度16.80~17.00m間、砂挟在。深度17.00~17.30m間、礫混じりシルト挟在。			16.40	5	18	37	60	13.40	物理試験 三軸圧密				
			砂質シルト									17.00	5	18	37	60	14.15					
	-10.86	17.30				茶褐	rd5		φ2~10mm程度の垂角~垂円礫主体。マトリクスは細粒分により充填される。最大礫径φ40mm程度。			17.40	30	30	60	180	14.40					
			砂礫									18.00	30	30	60	180	15.15					
	-11.89	18.33										18.33	60	60	180	180	16.15					
																	17.15					
																	17.40					
																	18.15					
																	18.33					

H17(B-No.1)

ボーリング柱状図

調査名 平成17年度 袋井駅南地区治水計画基本調査に伴う地質調査業務委託

ボーリングNo.									
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	B-No. 1		調査位置	袋井市 高尾 地内			北緯	34° 44' 04.05"								
発注機関	袋井市役所			調査期間	平成 17年 12月 6日 ~ 18年 3月 15日			東経	137° 55' 08.30"							
調査業者名	株式会社グランドリサーチ浜松営業所 電話 (053-426-2675)		主任技師	濱田 拓雄		現場代理人	大石 義彦		コシゲア 鑑定者	大石 義彦		ボーリング 責任者	富田 一宏			
孔口標高	7.00m	角	180° 上 90° 下		方	北 0° 270° 90° 西 東 180° 南		地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°		使用機種	YBM05D		ハンマー 落下用具	ロープ・コーンブーリー	
総掘進長	16.50m	度			向			エンジン	ヤンマー-NFD9		ポンプ	カノ VP-5				

標尺 (m)	層厚 (m)	柱状図	土質区分	色相対調度	相対稠度	記号	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入試験				N 値	原位置試験	試験名および結果	試料採取	採取方法	掘進月日
								深 (m)	10cmごとの 打撃回数	打撃回数 / 貫入量 (cm)	深 (m)						
6.10	0.90	盛土(シルト)	茶褐		非常に軟らかい	植物根混入。	2/28 1.00	1.15	1	1	3	32	3				2/28
4.80	1.30	有機物混りシルト	茶褐		非常に軟らかい	全体に有機物混入。 全体に僅かな細砂混入。 含水中位、粘性低位。	1.47	1	1	1	30	30	1				2/28
		有機質土	黒褐		非常に軟らかい	未分解の有機物主体。 マトリクスは細砂混りシルト。 弾力性がありスポンジ状。 含水高位、粘性低位。 部分的に有機物が少ない箇所がある。 繊維を多く含む。	2.15	1	1	1	30	30	1				2/28
		有機物混りシルト	灰		非常に軟らかい	全体に未分解の有機物混入。 GL-11.0m以深に径2~20mmの角礫混入。 含水中位、粘性中位。 府下部に行くに従って有機物多くなる。	2.45	1	1	1	30	30	1				2/28
		砂礫	灰褐		密なり非常に密なり	径2~20mmの角~亜角礫が主体。 マトリクスはシルト混り砂。 最大礫径70mm(掘進中確認)。 粘土、シルト質砂の薄層を挟む。 GL-15.0m付近で逸水発生。	5.15	1	1	1	20	15	2				2/28
							5.50	1	1	1	35	35	2				2/28
							7.15	1	1	1	30	30	1				2/28
							7.45	1	1	1	30	30	1				2/28
							9.15	モンケン自然	0	0	30	0	0				2/28
							9.45	1	1	1	18	15	2				2/28
							10.15	1	1	1	33	33	2				2/28
							10.48	1	1	1	33	33	2				2/28
							12.15	5	8	7	20	30	20				2/28
							12.45	15	15	20	50	28	54				2/28
							13.15	15	15	20	50	28	54				2/28
							13.43	12	17	20	49	30	49				2/28
							14.15	15	19	16	50	27	56				2/28
							14.45	15	19	16	50	27	56				2/28
							15.15	15	15	3	33	30	33				2/28
							15.42	15	15	3	33	30	33				2/28
							16.15	15	15	3	33	30	33				2/28
							16.45	15	15	3	33	30	33				2/28

H17 (B-No.2)

ボーリング柱状図

調査名 平成17年度 袋井駅南地区治水計画基本調査に伴う地質調査業務委託

ボーリングNo.																				
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	B-N0.2		調査位置	袋井市 高尾 地内			北緯	34° 44' 18.04"								
発注機関	袋井市役所			調査期間	平成17年12月6日 ~ 18年3月15日			東経	137° 55' 58.77"							
調査業者名	株式会社グランドリサーチ浜松営業所 電話(053-426-2675)		主任技師	濱田 拓雄		現場代理人	大石 義彦		コア鑑定者	大石 義彦		ボーリング責任者	外間 永一			
孔口標高	6.30m	角	180° 上 90° 下		方	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°		地盤勾配	鉛直 0° 水平 0°		使用機種	TOHO D0		ハンマー落下用具	トンビ	
総掘進長	11.32m	度			向			エンジン	ヤンマーNFD10		ポンプ	TOHO GB-3				

標尺 (m)	層厚 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記号	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入試験				原位置試験	試料採取	室内試験 (掘進月日)	
									深 (m)	10cmごとの打撃回数	打撃回数 / 貫入量 (cm)	値				
5.70	0.60	0.60	シルト質砂礫	灰濁~暗灰			・径20~50mmの円礫主体。	0.30	0	10	20	30	0			
2.00			有機質土	黒濁~灰		非常に軟らかい	・未分解の有機物主体。 ・マトリクスは細砂混りシルト。 ・弾力性がありスポンジ状。 ・含水高位、粘性低位。 ・部分的に有機物が少ない箇所がある。 ・繊維を多く含む。		モンケン自注	0	55	0	0	1.00	3-1	物理三軸 (CU) 圧密
2.55									モンケン自注	0	55	0	1.80	3-2	物理三軸 (CU) 圧密	
4.00			シルト混り砂礫	灰	中位の密な		・径2~30mmの角~亜円礫主体。 ・マトリクスはシルト混り砂。 ・層上部はシルト分多い。 ・最大礫径50mm (掘進中確認)。		モンケン自注	3	6	8	17	3.00	3-3	物理三軸 (CU) 圧密
4.55									モンケン自注	7	11	14	32	3.80	3-3	物理三軸 (CU) 圧密
6.15			砂礫	灰濁	非常に密な		・径2~20mmの角~亜角礫が主体。 ・マトリクスはシルト混り砂。 ・最大礫径70mm (掘進中確認)。 ・粘土、シルト質砂の薄層挟在。			19	21	10	50	5.00		
6.45										21	29	6	50	5.80		
7.15										21	29	6	50			
7.35										16	31	3	50			
8.05										24	26	7	50			
8.33																
8.90																
9.00																
9.16																
10.00																
10.21																
11.15																
11.32																

ボーリング柱状図

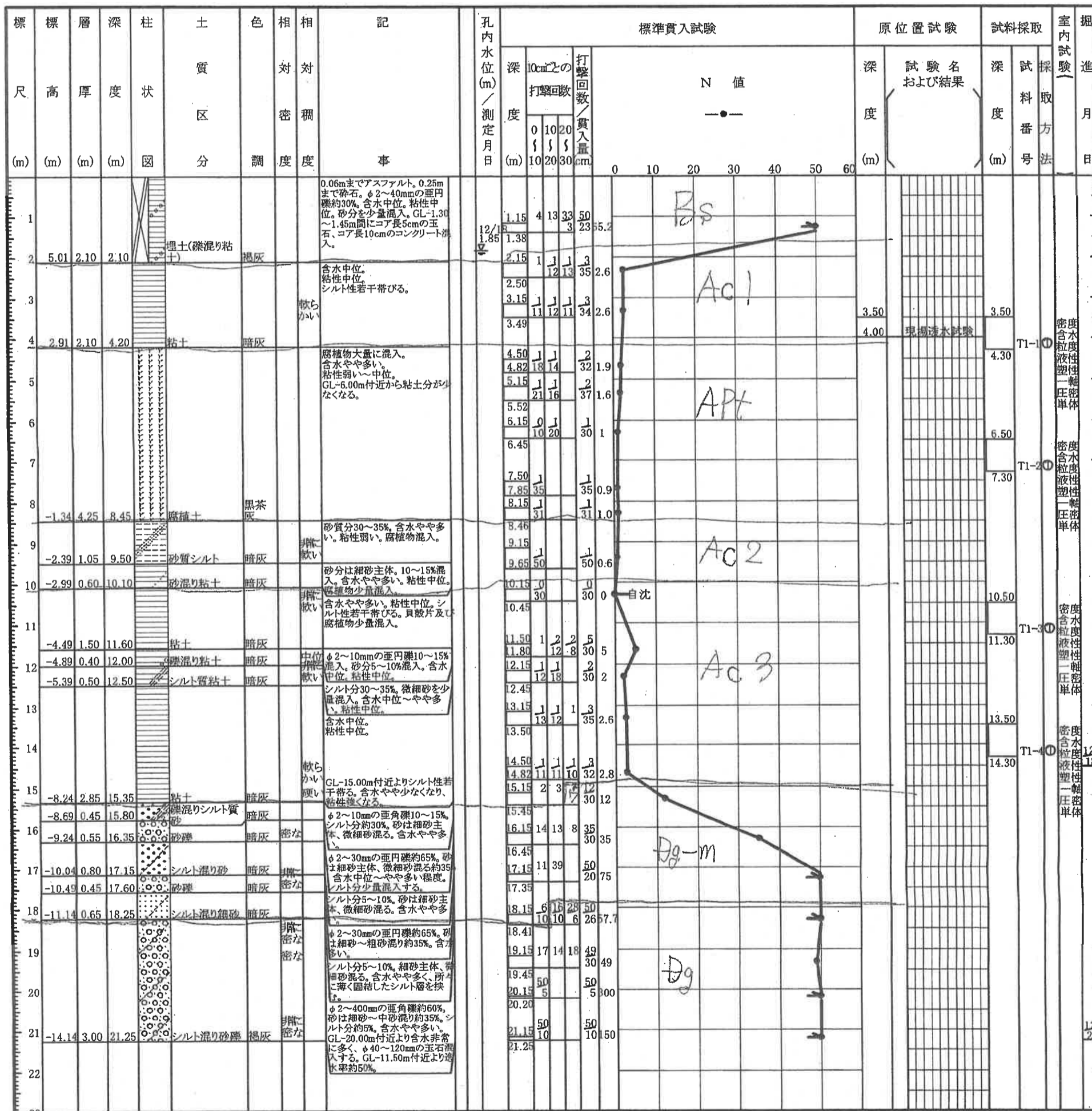
調査名 平成21年度 小笠沢川流域高南地区地質調査業務委託

事業・工事名

ボーリングNo. 5 2 3 7 0 7 8 4 0 0 1

シートNo.

ボーリング名	B-1	調査位置	静岡県袋井市小川町 地内			北緯	34° 44' 00.1600"	
発注機関	袋井市	調査期間	平成21年12月17日～平成21年12月21日			東経	137° 55' 48.7800"	
調査業者名	株式会社中野地質 054-627-1395	主任技術者	尾方 孝治	業務代理人	村田 聡史	コア鑑定者	村田 聡史	
ボーリング責任者	中野 雄介			ハンマー落下用具	コーンブーリー			
孔口標高	GH=7.11m	角	180° 上 0° 下	方向	北 0° 東 90° 南 180° 西 270°	地盤勾配	0° 鉛直 90° 水平	
総掘進長	21.25m	使用機種	試験機	カノー-KR-50	エンジン	ヤンマー-F-7	ポンプ	カノー-V6



株式会社中野地質

ボーリング柱状図

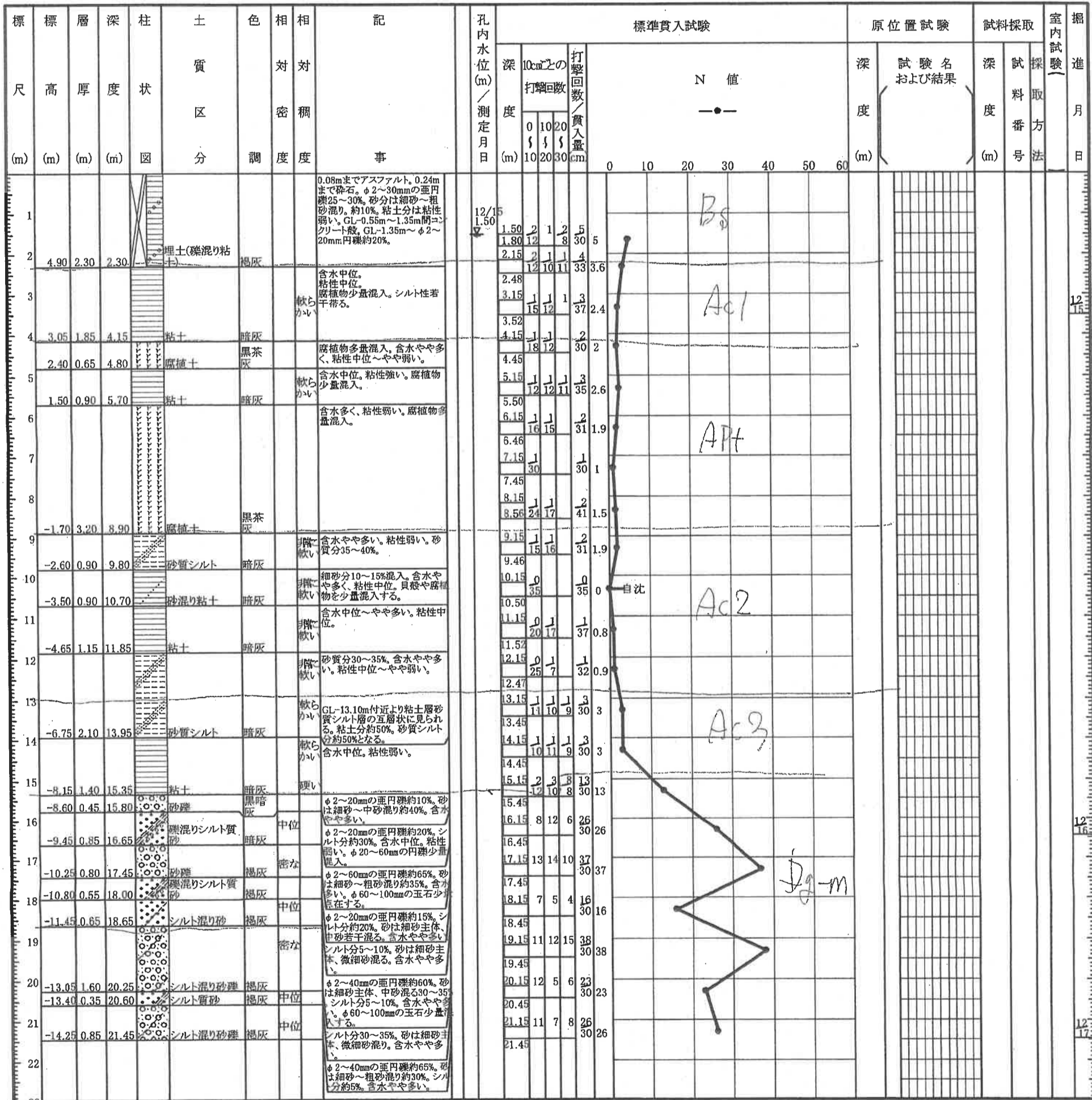
調査名 平成21年度 小笠沢川流域高南地区地質調査業務委託

ボーリングNo. 5 2 3 7 0 7 8 4 0 0 2

事業・工事名 _____

シートNo. _____

ボーリング名	B-2	調査位置	静岡県袋井市小川町 地内			北緯	34°44'01.1600"
発注機関	袋井市	調査期間	平成21年12月15日～平成21年12月17日			東経	137°55'52.3800"
調査業者名	株式会社中野地質 054-627-1395	主任技術者	尾方 孝治	業務代理人	村田 聡史	コア鑑定者	村田 聡史
ボーリング責任者	松橋 利正						
孔口標高	GH=7.20m	角	180° 上 0° 下	90° 方向	北 0° 東 90° 西 180° 南	地盤勾配	0° 鉛直 90° 水平
総掘進長	21.45m	使用機種	試錐機	カノー-KR-50	ハンマー落下用具	コーンブーリー	
		エンジン	ヤンマー-F-7	ポンプ	カノー-V6		



株式会社中野地質

H24(B-No.1)

ボーリング柱状図

調査名 平成24年度 田端東調整池測量設計業務委託

ボーリングNo. 52370784000

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	B-No.1	調査位置	袋井市高尾地内	北緯	34° 44' 18.2900"
発注機関	袋井市	調査期間	平成24年 9月24日～平成24年 9月24日	東経	137° 55' 35.6300"
調査業者名	服部エンジニア 株式会社 袋井事務所 電話 0538-42-6923	主任技師	山田文雄	現代理人	山田文雄
孔口標高	H 6.17m	角	180° 上下 0°	方	0°北 0° 270°西 90°東 180°南
総掘進長	6.45m	度	0°	向	0° 鉛直 90°
使用機種	試錐機 KR100P エンジン NFD9EK	ハンマー	落下用具	ポンプ	半自動型 V6
コア	ア	鑑定者		ボーリング責任者	山田勝郎

標尺	層厚	深度	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記	孔内水位/測定月日	標準貫入試験			原位置試験	試料採取	室内掘進				
										深	10cm毎の打撃回数	打撃回数/貫入量				深	試験名及び結果	深	試料番号
1	4.47	1.70	1.70	粘土	褐灰	非常に軟らかい	非常	層上部、植物根が多く混在する。含水量多く、粘性中位。1.00m以深、含水量多く粘性強い。有機物を少量混在する。	▽	1.15	2/30	2	2.00	0/80	0	1.15	1-1	⊖	物理三軸
2										2.00	0/80	0	2.00	0/80	0	2.00	TW-1	⊕	
3										3.00	0/80	0	3.00	0/80	0	3.00	1-3	⊖	
4				有機質土	黒灰	非常に軟らかい	非常	有機物を不規則に混在する。含水量多く粘性弱い。炭化物を多く含む。圧縮性に富む。	部	4.00	0/80	0	4.00	0/80	0	4.00	TW-2	⊕	
5										5.00	0/80	0	5.00	0/80	0	5.00	1-5	⊖	
6	-0.03	4.50	6.20	シルト混り砂	青灰	中々	中	含水量少ない。φ2~30mmの円礫を主体とする。礫間充填物はシルト・粗砂により構成される。	部	6.15	17/30	17	6.15	17/30	17	6.15	1-6	⊖	
7	0.28	0.25	6.45							6.45			6.45			6.45			9/24

ボーリング柱状図

調査名 平成24年度 田端東調整池測量設計業務委託

ボーリングNo. 52370784000

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	B-No.2	調査位置	袋井市高尾地内	北緯	34° 44' 21.6100"
発注機関	袋井市	調査期間	平成24年 9月25日～平成24年 9月25日	東経	137° 55' 35.2700"
調査業者名	服部エンジニア 株式会社 袋井事務所 電話 0538-42-6923	主任技師	山田文雄	現代 場人	山田文雄
孔口標高	H 6.30m	角	180° 上 90° 下 0°	方	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南
総掘進長	7.45m	度	0°	地盤勾配	0° 鉛直 90° 水平 0°
		使用機種	試錐機 KR100P エンジン NFD9EK	ハンマー 落下用具	半自動型
				ポンプ	V-6
				鑑定者	
				ボーリング 責任者	山田勝郎

標尺	層厚	深度	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記	孔内水位/測定月日	標準貫入試験			原位置試験		試料採取		室内試験	掘進月日
										深	10cm毎の打撃回数	打撃回数/貫入量	深	試験名及び結果	深	試料採取番号		
									0.40	0	0	0						
1	4.50	1.80	1.80	シルト	褐灰			非常に軟らかい		1.00	0	0		1.00			物理三軸圧密	
2										2.00	0	0		1.90				
3										3.00	0	0		2.80				
4				有機質土	黒灰			含水量多い。粘性弱い。有機物・腐植物が多く混在する。3.00~4.00m付近、特に混入多い。		4.00	0	0		3.80				
5										5.00	0	0		4.90				
6	0.30	4.20	6.00	シルト混り砂礫	褐灰			φ2~30mmの円礫を主体とする。層上部、細粒分の混入が多い。礫間充填物は、シルト、粗砂により構成される。含水量中位程度。		6.15	4	5	14	5.80				
7	-1.15	1.45	7.45							6.45				6.15				
										7.15	8	9	26	6.45				
										7.45				7.15				
														7.45				

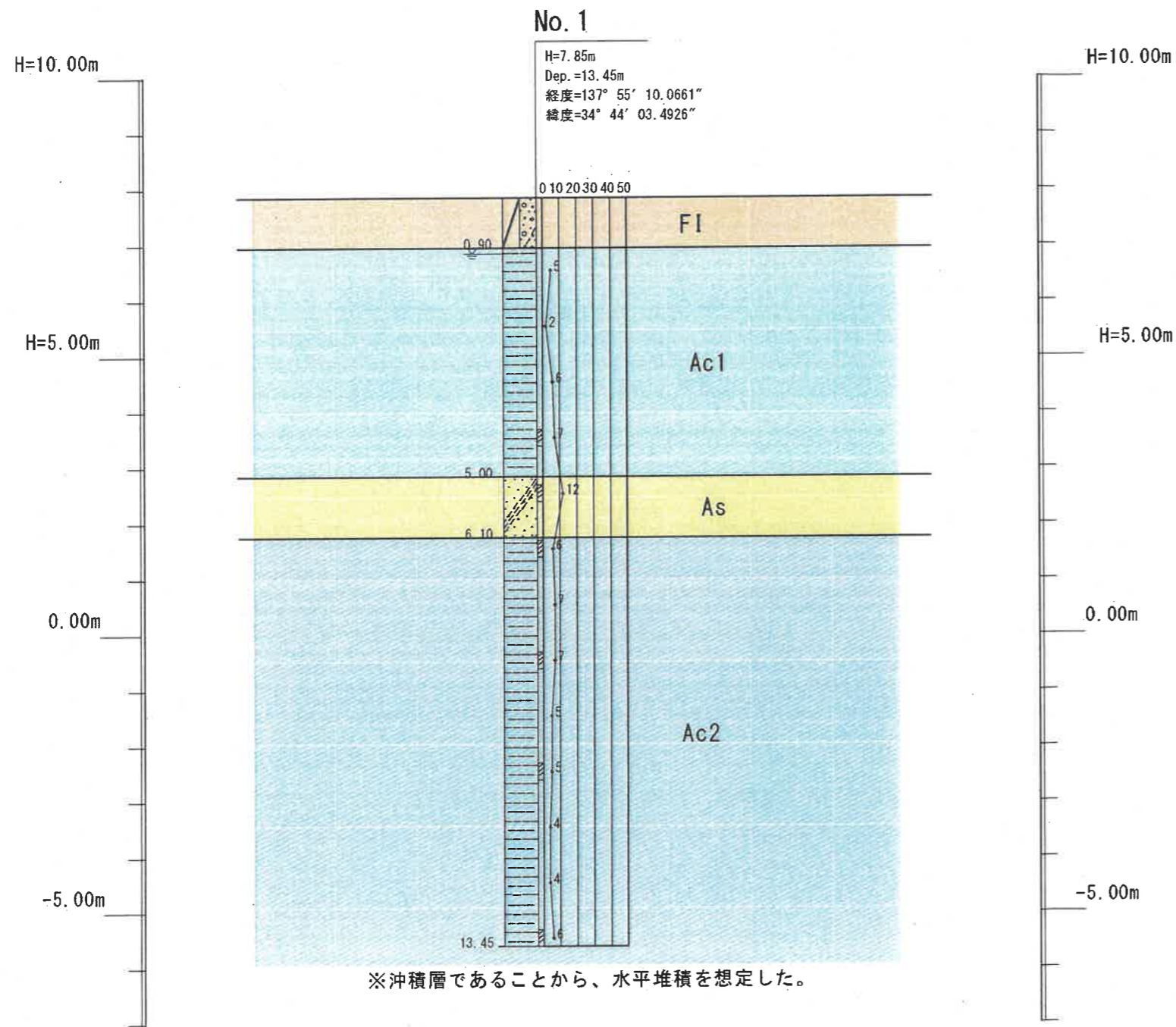
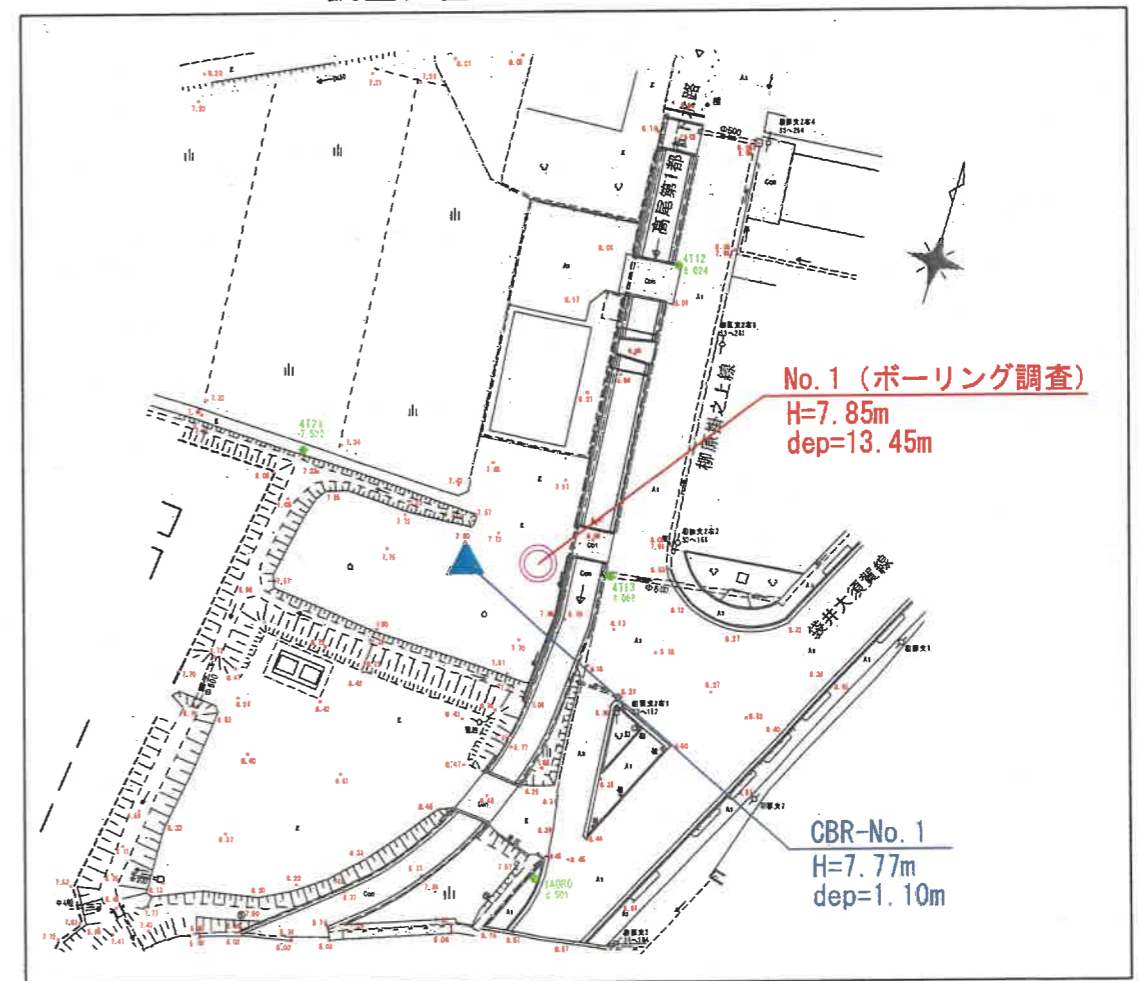
推定地質断面図

S=1/100 (A3)

地層凡例

時代	地層名	記号	ボーリング調査	
			No. 1	
			層相	N 値
新生代 第四紀 完新世	埋土	FI	シルト混じり砂礫	—
	沖積粘性土1	Am1	粘土	2~7
	沖積砂質土	As	シルト質砂	12
	沖積粘性土2	Am2	粘土	4~7

調査位置平面図 S=1:1000



※沖積層であることから、水平堆積を想定した。

